麻薬取締部　捜査部門のキャリアステップ

（※1）麻薬取締部では他機関との人事交流などを行い、麻薬取締官として採用された様々なクラスの人が他機関でも活躍しています。

（令和元年度、他機関交流先）
- 厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課（薬物取締調整官、課長補佐など）
- 警察
- 税関
- 県庁
- 地方厚生局の他部署
- 在外公館

など

新任者（1～2年目）
- 捜査実務の習得
- 捜査補助
- OJT・集合研修などの受講

※採用研修、麻薬取締職員研修、初等科研修

・業務の早期習得
・体力、知力の向上

係員（2～12年目）
- 捜査（班員）
- 捜査に係る行政事務の処理
- 同僚・部下への助言

※中等科研修（高等検察庁中等科研修）

・小地区、大地区両方での業務経験
・体力、知力の向上

係長クラス（9～19年目）
- 捜査（現場班長）
- 捜査に係る行政事務の処理
- 部下の教育

※高等科研修（警部補研修）

・役割に応じた業務の実行
・捜査業務以外の業務経験、又は他機関（警察、税関等）での業務経験（※1）

補佐クラス（15年目以降）
- 捜査（現場指揮）
- 捜査計画の立案
- 捜査に係る行政事務の管理
- 部下の管理

※（高等検察庁高等科研修）

・上司の補佐、部下のフォロー

幹部クラス（20年目以降）
（情報官）
- 他地区・他機関との窓口、統計関係

（密輸対策官）
- 税関との連携（主）、密輸事犯の処理

など

※幹部研修

・役割に応じた業務
・様々な地区での勤務

課長クラス（23年目以降）
- 課内業務のとりまとめ、捜査方針の決定
- 他課、他機関との高度な交渉
- 課員等の管理、予算執行　など

・適切な捜査指揮、予算執行、課内管理
・様々な地区での勤務

（調査総務課長）

部長クラス
- 人事管理
- 業務執行管理
- 対外的、全体的業務　など

・麻薬取締り全体を考えての行動

（図の見方）

役職等（入省後の経過年数（目安））

（主な業務）

（期待されていること）